

認知症の人の世界にスツと入れるアクターズケア

～コミュニケーション力が上達する画期的手法を学ぼう～

認知症の人はいつも「私の世界」に生きています。その世界を、質問したり否定したりすることは認知症の人の心を不安にし、BPSDを引き起こすことにつながります。

認知症の人の世界に寄り添い、その中の人物になりきり会話する手法、それがアクターズケアです。

京都

※アクターズケア…俳優たちが学ぶ演技手法の要素を取り入れたケア手法です。

神戸

2017年

日時：9月5日(火) 10:30～16:00

会場：京都府中小企業会館 (709会議室)

(京都府京都市右京区西院東中水町 17)

☆JR「京都」駅より山陰本線「丹波口」下車徒歩10分、
または京都駅より市バス「西大路花尾町」下車すぐ

2017年

日時：9月6日(水) 10:30～16:00

会場：神戸市産業振興センター

(802+803会議室)

(兵庫県神戸市中央区東川崎町1-8-4: 神戸ハーバーランド内)
☆JR「神戸」駅より徒歩 5分

【講師】

高室成幸



ケアタウン総合研究所・代表。日本福祉大学社会福祉学部卒、アクターズケア提唱者。1980年、大学卒業後、東京の劇団に3年間在籍。俳優・制作のほか脚本・シナリオの修行をする。その後、出版社、PR専門会社、外資系金融機関を経て41歳でケアタウン総合研究所を設立。全国のケアマネジャーや地域包括支援センター、施設管理職などを対象に研修講師、執筆、コンサルテーションで活躍する。「わかりやすく元気がでる講師」として年間100回、受講者はのべ20万人にのぼる。『ケアマネジャーの質問力』(中央法規出版)他、著書・監修書多数。

↑ プ ロ グ ラ ム ↓	10:30 ～11:30	アクターズケアとはなにか 感情労働とケアストレス/演技とケアの関係/認知症ケアに演技がなぜ効果的か/認知症の人の世界に生きるのは3分間
	11:40 ～12:40 (昼食)	アクターズケアの基礎 声を出す/表情をつくる/動作・所作を行う/場面別・状況別・立場・環境別の動作を体験する
	13:40 ～14:20	シアターゲームを体験しよう Yes and ゲーム/ No but ゲーム/宇宙語ゲームなど
	14:30 ～15:10	さまざまな感覚と感情と行動を体験しよう 楽しい感覚・つらい感覚/楽しい感情・つらい感情/楽しい行動・つらい行動/思わぬ表情、思わぬ態度、思わぬ行動など
	15:10 ～16:00	エチュードトレーニング&ミニドラマトレーニング 本音・建前トレーニング/自由な設定でドラマを作る/5分ミニドラマで演技のおもしろさを体験する

*受講票はお送りしません。満員でお断りする場合はみ一週間以内にご連絡さし上げます。

【受講料：6,000円】

*受講料は当日会場で承ります。

主催

なるほどケア塾

お問い合わせ

☎042-306-3771

〒189-0011

東京都東村山市恩多町 3-39-13-101 榎門窓社内

お申し込みはこちらへ Fax

Fax : 042-306-3772

<参加人数>

<参加者名>

*施設の場合は施設名もご記入ください。

<住所>〒

(自宅・職場)

<TEL>

<FAX>

9/5(火) 京都

()名

9/6(水) 神戸

()名